



山野草 オカトラノオ

平地から低い山地の日当たりのよい草地や道端に見られる多年草です。茎はまっすぐに立ち上がり花期になると、真っ直ぐに伸びた茎の頂部に総状花序を出し、小さな花を密に咲かせます。

とうめい news

2022.7.1
Vol.251

〒249-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印刷: (有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

TOPICS

「めまい」は何科にかかればよいのでしょうか？

耳鼻咽喉科：
飯島 宏章

「めまい」は病院に来られる患者さんの最もポピュラーな訴えの一つです。一説には年間200万人以上の方が「めまい」を感じているとされています。多くの患者さんが比較的速やかに症状が改善しますが、一部の方は「めまい」により、これまでの生活を送ることができなくなってしまうことがあります。また原因は多岐にわたるため、患者さんはどこの病院の何科を受診すれば良いのか、医師も何科に紹介すれば良いのか、迷うことが多々あります。

では「めまい」とは何でしょうか。患者さんの言葉を借りると「くるくる回転する」「ふわふわする」などいろいろな表現があります。「めまい」は、そのように実際には起こっていない、体に異常な平衡感覚が生じてしまうことです。

「めまい」の原因は大きく次の4つに分けることができます。

- 1) 耳(前庭)が原因のめまい：めまいの原因として最も頻度が高いものです。もし耳の平衡感覚器(前庭)がうまく機能していない場合には、急に振り返ったり、下を向いたりした際にめまいを感じます。
- 2) 小脳が原因のめまい：年を重ねると脳の神経細胞の数が少しずつ減ってきます。高齢の方にふらつきが見られることがあります。この原因の主なものが、年齢とともに小脳の細胞が減ったことによる機能低下です。また小脳に生じる脳梗塞でもめまいが生じます。
- 3) 大脳が原因のめまい：これは難治性のめまいの中に多く含まれています。小さい頃から乗り物酔いをしやすかった、光や音に敏感であった、頭痛

持ちであった、などの方がこのタイプの可能性があります。また大脳に生じる脳梗塞等でもめまいが生じます。

- 4) 不整脈や血圧変動、ストレスが原因のめまい：不整脈や血圧変動、自律神経障害など内科疾患によりめまいを生じることがあります。またストレスがあることでさまざまな体の症状が発症したり、より強く感じられ治りにくくなります。

実際は「めまい」の原因は単一ではなく、これら複数の要因が組み合わさって原因となっていることが多いのが実状です。それぞれの原因に対する治療を組み合わせる必要があります。

「めまい」は、非常に多くの方が悩む体の症状です。「めまい」の症状は、体験した患者さん自身しかその苦しみを理解することはできません。周りの人には理解されず、ひどい場合には怠け者と思われてしまうこともあるようです。また、「めまい」に苦しむ患者さんは辛抱強いことが知られ、「めまい」によるふらつきに耐え、日常生活を送っている方も多いように思います。

当院では脳梗塞や脳出血で引き起こされる中枢性めまいの専門科である脳神経外科・脳神経内科、末梢性めまいの専門科である耳鼻咽喉科があります。めまいでお困りの方はご相談ください。

筆者紹介

飯島宏章
東海大学医学部卒
明治大学農学部生命科学科卒
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医
専門分野：頭頸部癌、耳鼻咽喉科全般、航空宇宙医学

